

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	昭和大学歯学部
教育プログラム・コース名	昭和大学 特色ある医療支援歯学教育プログラム チーム医療を目指した歯科医療人養成コース
対象者	歯学生6年次生
修業年限（期間）	2週間（4月～5月）
養成すべき人材像	・昭和大学の特色を有する医学部附属病院での診療参加型臨床実習（クリニカルクラークシップ）を通じて、多職種連携の重要性を理解し、将来地域医療の現場で医療チームの一員として患者の健康に貢献する強いマインドを有する歯学生
修了要件・履修方法	修了要件： 昭和大学歯学部の履修要項に基づき、2週間のうち4/5以上に出席し、かつ、修了時に課題試験に合格すること 履修方法： <b>2単位（10日間で総計60時間）のチーム医療を目指した歯科医療人養成実習を新設</b> する。昭和大学歯学部学生は6年次の必修選択実習内のコースとして、他の開講しているコースを含めて選択で履修する。他大学学生は希望に応じて自由選択で履修できる。
履修科目等	<p>チーム医療を目指した歯科医療人養成コース ＜昭和大学学生：必修選択科目、他大学学生：自由選択科目＞</p> <p>以下の各附属病院の実習を選択して、2週間（10日間で総計60時間）、各病院の実情に応じてクリニカルクラークシップに従事させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昭和大学病院（815床）および昭和大学病院附属東病院（199床）実習 受入人数 最大4名</li> <li>2. 昭和大学藤が丘病院（584床）および昭和大学藤が丘リハビリテーション病院（206床）実習 受入人数 最大2名</li> <li>3. 昭和大学横浜市北部病院（689床）実習 受入人数 最大4名</li> <li>4. 昭和大学烏山病院（340床）実習 受入人数 最大2名</li> <li>5. 昭和大学江東豊洲病院（300床）実習 受入人数 最大2名</li> </ol> <p>各病院の特徴に応じた病棟口腔ケア実習、歯科・歯科口腔外科外来実習、手術室麻酔実習を基本実習とし、ほかに関連診療科等で実習する。 口腔ケア実習においては以下の専門実習に従事する。</p> <p>《急性期病院》 口腔ケアラウンド、心臓血管外科周術期パス、NSTチーム回診、嚥下回診、ICU・CCU・HCUラウンド、骨髄移植周術期ラウンド、マタニティ歯科外来</p> <p>《回復期病院》 口腔ケアラウンド、NST回診、嚥下回診、摂食嚥下リハビリテーション、精神疾患病棟健診、認知症病棟健診、ホスピス病棟ラウンド、VAP回診</p>

<p>教育内容の特色等 (新規性・独創性等)</p>	<p>昭和大学ではチーム医療を実践する能力を有する医療人の養成のため、4学部(医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部)合同のチーム医療教育を実践し、附属の8病院を全学部学生の臨床実習に用いているとともに、昭和大学口腔ケアセンターを設置し、全附属病院で歯科医師・歯科衛生士が多職種連携で入院患者の口腔ケアを行っている。また、5病院に歯科・歯科口腔外科を開設し、地域の医療連携や病院内の診療連携を積極的に実施している。昭和大学歯学部学生は5年次に歯科病院で歯科系診療科の診療参加型臨床実習に従事するとともに、医歯薬保健医療学部合同の病棟実習を経験する。5年次終了時に臨床実習終了時OSCEを実施し、コンピテンシーに基づいた臨床能力を評価している。これに合格した学生が6年次に必修選択実習として、海外を含めた多様な医療施設でクリニカルクラークシップに従事する。本コースはこの必修選択実習の一つとして、<u>新規に各附属病院の特徴に応じて、学生がこれまで学習してきた専門領域をさらに発展させ、実践的に多職種連携や地域医療連携の診療現場に参画し、また病院内での病棟ラウンドに加わることで、患者中心のチーム医療の重要性を体験・理解し、将来の医療人マインドを育成するプログラムであり、新規性と独創性に優れている。</u></p>						
<p>指導体制</p>	<p>コース責任者： 昭和大学・弘中祥司教授(歯学部スペシャルニーズ歯科学講座口腔衛生学部門，昭和大学口腔ケアセンター長) 副責任者： 昭和大学・高橋浩二教授(歯学部スペシャルニーズ歯科学講座口腔リハビリテーション医学部門) 昭和大学・丸岡靖史准教授(歯学部スペシャルニーズ歯科学講座地域連携歯科学部門) 昭和大学・飯島毅彦教授(歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門) 実習担当者 1. 昭和大学附属病院の歯科・歯科口腔外科常勤歯科医師 昭和大学病院：岡松良昌助教、青山慶太助教、昭和大学藤が丘病院：村山隆夫助教、八十篤聡助教、昭和大学横浜市北部病院：葎葉清香助教、湯浅研助教、宮久保あや子助教、昭和大学烏山病院：山口麻子助教、昭和大学江東豊洲病院：渡邊仁資講師、鈴木麻衣子助教 2. 昭和大学口腔ケアセンター指導教員 石川健太郎講師、内海明美講師、大岡貴史講師、久保田一見助教、石崎晶子助教、石田圭吾助教 3. その他 医学部麻酔科教員ならびに研修歯科麻酔医、各病棟看護師長、薬剤部長ほかが指導する。</p>						
<p>教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想</p>	<p>これからの歯科医師は地域医療の現場で他職種(多職種)との連携のもとで、チーム医療の一員として専門歯科医療の立場から患者の健康に貢献することが求められている。本コースは歯学部卒業後の卒後臨床研修に連続する。昭和大学歯科病院における卒後臨床研修では、昭和大学の関連病院歯科・歯科口腔外科および歯科病院連携歯科において研修を実施する「病院歯科コース(臨床研修施設群方式)」を設置するとともに、全臨床研修歯科医に対して、昭和大学口腔ケアセンターでの研修を実施している。「病院歯科コース」では、急性期から慢性期に至る各過程において、多職種と連携したチーム医療における歯科医師の役割を研修する。口腔ケアセンターでは、多職種協働による入院患者の口腔衛生管理の実際を研修する。従って、本コースは歯学部学生のキャリアパス上、非常に有益である。</p>						
<p>受入開始時期</p>	<p>平成27年4月</p>						
<p>受入目標人数</p>	<p>対象者</p>	<p>H26年度</p>	<p>H27年度</p>	<p>H28年度</p>	<p>H29年度</p>	<p>H30年度</p>	<p>計</p>
<td data-bbox="416 1765 616 1821"> <p>昭和大学歯学生</p> </td> <td data-bbox="616 1765 746 1821"> <p></p> </td> <td data-bbox="746 1765 877 1821"> <p>5</p> </td> <td data-bbox="877 1765 1008 1821"> <p>7</p> </td> <td data-bbox="1008 1765 1139 1821"> <p>7</p> </td> <td data-bbox="1139 1765 1270 1821"> <p>7</p> </td> <td data-bbox="1270 1765 1434 1821"> <p>26</p> </td>	<p>昭和大学歯学生</p>	<p></p>	<p>5</p>	<p>7</p>	<p>7</p>	<p>7</p>	<p>26</p>
<td data-bbox="416 1821 616 1877"> <p>連携校歯学生</p> </td> <td data-bbox="616 1821 746 1877"> <p></p> </td> <td data-bbox="746 1821 877 1877"> <p>2</p> </td> <td data-bbox="877 1821 1008 1877"> <p>5</p> </td> <td data-bbox="1008 1821 1139 1877"> <p>5</p> </td> <td data-bbox="1139 1821 1270 1877"> <p>5</p> </td> <td data-bbox="1270 1821 1434 1877"> <p>17</p> </td>	<p>連携校歯学生</p>	<p></p>	<p>2</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>17</p>
<td data-bbox="416 1877 616 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="616 1877 746 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="746 1877 877 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="877 1877 1008 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="1008 1877 1139 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="1139 1877 1270 1933"> <p></p> </td> <td data-bbox="1270 1877 1434 1933"> <p>0</p> </td>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>0</p>
<td data-bbox="416 1933 616 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="616 1933 746 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="746 1933 877 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="877 1933 1008 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="1008 1933 1139 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="1139 1933 1270 1989"> <p></p> </td> <td data-bbox="1270 1933 1434 1989"> <p>0</p> </td>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>0</p>
<td data-bbox="416 1989 616 2078"> <p>計</p> </td> <td data-bbox="616 1989 746 2078"> <p>0</p> </td> <td data-bbox="746 1989 877 2078"> <p>7</p> </td> <td data-bbox="877 1989 1008 2078"> <p>12</p> </td> <td data-bbox="1008 1989 1139 2078"> <p>12</p> </td> <td data-bbox="1139 1989 1270 2078"> <p>12</p> </td> <td data-bbox="1270 1989 1434 2078"> <p>43</p> </td>	<p>計</p>	<p>0</p>	<p>7</p>	<p>12</p>	<p>12</p>	<p>12</p>	<p>43</p>

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	昭和大学歯科病院、昭和大学口腔ケアセンター
教育プログラム・コース名	昭和大学 特色ある医療支援歯学教育プログラム 健康長寿社会を実現する病院から在宅への切れ目のない医療を実践できる歯科医療人養成コース
対象者	研修歯科医
修業年限（期間）	2週間（連携校2週間）
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康長寿社会を実現する病院から在宅への切れ目のない医療を実践できる歯科医療人</li> <li>広範な一般医学知識をもち、病院の中で多職種と連携しながら、チーム医療を実践し、入院患者の口腔機能管理を行えるようになり、かつ、退院後の患者の生活を、医療、介護などの面から、包括的に考え、退院後の歯科診療、特に在宅・訪問歯科診療の重要性を理解し、地域連携パスに繋ぐことで地域医療に貢献できる研修歯科医</li> </ul>
修了要件・履修方法	<p>修了要件： 4/5出席でかつ、修了時に課題レポートに合格した者を修了とする。</p> <p>履修方法： <b>学部教育2単位（10日間で総計60h）相当の「健康長寿社会を実現する病院から在宅への切れ目のない医療を実践できる歯科医療人養成コース」を新設する。</b>臨床研修開始時に選択科目として行う。病院歯科外来と地域連携歯科医院を利用したクリニカルクラークシップ方式をとり履修を行う。</p>
履修科目等	<p>臨床特論講義（学部教育換算2単位分・90分×15回） 1単位：全身管理、救急医学、有病者歯科医療学（90分×7回） 1単位：栄養、老年歯学、摂食嚥下リハビリテーション（90分×8回）</p> <p>臨床研修 昭和大学口腔ケアセンター研修（1週間：連携校は2週間） 以下の昭和大学が擁する総合急性期病院および精神疾患急性期回復期病院で展開する口腔ケアセンターの実際を研修させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和大学病院（815床）：総合急性期病院</li> <li>昭和大学藤が丘病院（584床）：総合急性期病院</li> <li>昭和大学横浜市北部病院（689床）：総合急性期病院</li> <li>昭和大学烏山病院（340床）：精神疾患急性期・回復期病院</li> <li>昭和大学江東豊洲病院（300床）：総合急性期病院</li> </ul>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>昭和大学は8つの附属病院を持ち、病床数は合計3,155床と全国一を誇る。8つの附属病院は急性期病院、回復期リハビリテーション病院、精神科病院などと多岐に渡り、それぞれの病院が病院の特色・機能に合わせた医療を行っており、入院患者も千差万別である。それらの8つの病院すべてに、術後の合併症、誤嚥性肺炎、窒息事故などを予防し、患者のQOLの向上を目的に、口腔ケアセンターが設置され、多職種と連携をとりながら、入院患者の口腔機能管理を行っている。</p> <p>様々な疾患の患者に対して多職種で取り組む専門的チーム医療の現場は、病院から在宅への切れ目のない医療を実践し、健康長寿社会の実現に貢献できる歯科医療人を養成するために絶好の研修の場である。入院という限られた期間の中で歯科的ニーズを考えることは、退院後の在宅や施設での歯科的ニーズを考えることにつながり、在宅・訪問歯科診療や地域連携の重要性の理解を深める。また、チーム医療の現場で培った能力は、地域での生活を包括的に考える基礎となる。周術期管理や院内のNST・嚥下回診に参加し、より専門性の高い口腔ケアを実践し、地域で求められる歯科医療人養成を養成するコースである。</p>

教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	<u>異なる機能を持つ様々な病院において、臨床研修歯科医師にこのようなチーム医療の現場に参加させる臨床研修を行い、その現場に必要な知識を身につけさせる教育内容は新規性、創造性を有する。</u>						
指導体制	<p>講義は毎週火曜日の17時半より行う。 臨床研修については、各病院歯科・歯科口腔外科において指導歯科医師のもと、有病者の歯科医療に参加する。また、臨床研修歯科医師1人もしくは2人について、口腔ケアセンター派遣歯科医師1人が指導にあたり、ともにチーム医療の現場に参加する。</p> <p>昭和大学附属の歯科室では、専属の歯科医師を指導教員とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和大学病院：岡松良昌助教</li> <li>・昭和大学藤が丘病院：村山隆夫助教</li> <li>・昭和大学横浜市北部病院：葎葉清香助教</li> <li>・昭和大学江東豊洲病院：渡邊仁資講師</li> <li>・昭和大学附属烏山病院：山口麻子助教</li> </ul>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	超高齢社会の我が国において、臨床研修終了後、どのような分野に進もうと、健康長寿社会を実現する病院から在宅への切れ目のない医療を实践できる能力は不可欠である。昭和大学歯科病院歯科教育研修センターの臨床研修歯科医師が臨床研修を修了する際には、このような能力を身につけていることを目指す。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	昭和大学研修歯科医師		100	100	100	100	400
	参加大学研修歯科医		5	10	10	10	35
							0
							0
	計	0	105	110	110	110	435